

# 委員会会議録

(一社) 滋賀県トラック協会

会議名	第3回 成長戦略委員会
開催日時	平成28年12月2日(金) 15:25~17:45
開催場所	東近江市「八日市ロイヤルホテル」
出席者	委員7名、事務局4名

協議内容
<p>定刻より5分早く開会。</p> <p>開会にあたり田中会長から昨日行われた全国トラック協会会長会議で当県の物流出前講座の取り組みや滋賀県交通安全フェアについてプレゼンを行った旨を報告された。</p> <p>議事に先立ち、滋賀県企業誘致推進室の宮田室長、森口主管から物流に関するヒアリングを行いたい旨説明され、業界の課題と今後の展開について意見を次により聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・業界は、やはり「安全」と「人材不足(特に若い人)」が最重要課題である。</li></ul> <p>滋賀県・・・業界が求める人材とは？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・将来的なことを考えると若い人材が欲しいが、業界はたちまち即戦力を欲しがらる。</li><li>・現在、協会では物流出前講座を行っているが高校の新卒ドライバー採用は道交法的(免許制度)にも難しい。方や世間では雇用延長を行っているのが現状である。</li><li>・当社では自車率を上げるために現在の保有車両4,000台から8,000台に増やす取組みを行っている。</li><li>・今年、高校卒を5名入社させたが現在3名が残っている。その中には普通免許を持っていない人もいた。現在はフォークリフトに乗せたり、2t車の横乗りをさせて教育している。まだ一人でトラックには乗れない。</li><li>・準中型免許は中途半端である。</li><li>・ハローワークから高齢者を採用して欲しいと言われたが、高齢者は事故率が高い。</li><li>・高校の新卒者を雇用しても大手とは違い教育もできないし余裕もない。</li><li>・採用はドライバーからの紹介が一番安心。</li><li>・大手と違い賃金、労働条件の差がある。新卒はさせる仕事もない。</li></ul>

- ・平成2年の規制緩和で業界がおかしくなった。事業者数が多くなり競争で運賃が下がり、経営が成り立たない。運賃が安いから給料も安い。人材が集まらない。国が求めている安全性に富んだ事業者が少なくなった。
- ・人材確保以外に、業界では市街化調整区域の開発問題がある。事業展開の足かせになっているのは事実である。
- ・滋賀県の中で地域を定め特区制度を引けないか。もしくは滋賀県全域が特区に指定できないか。
- ・滋賀県では物流をどういう位置づけと考えているのか？
- ・特区の提案も含めて、県でアイデアを出して欲しい。

滋賀県・・・土地・道路・人材の関連部署とも連携を図り勉強していきたい。

最後に、田中会長から今後、定期的にこういった場を持ち議論を進めていきたいと述べられた。

続いて、外村委員長からあいさつがあり議事進行を行った。

(1) 平成28年度事業の検証と次年度に向けて

- ① 交通安全運動キャラバン隊 (4/6 大津港)
- ② エコ・セーフティドライブコンテスト (5/14 クワイル湖東)
- ③ 滋賀県交通安全フェア (10/15 ドラゴンハット)

外村委員長から先程のヒアリングで時間がかかったため、上記①～③の事業については特に問題もなく今年度実施できたことから改良しながら続けることで確認を行った。

④ ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ (トラックの日事業) (11/6 湖周道路)

外村委員長から去る11月6日に今年で9回目を実施したクリーンアップ活動について今後続けるか、やめるか検討願いたいと述べられ、次の発言があった。

- ・参加費用については各支部ではそうとう負担がかかっている。当支部では支部独自で会費を集め事業参加費2,000円を出しているが、うち1,000円を協会に補助を出してもらっておりありがたい。
- ・地道にこの活動を続けてメディアに取り上げてもらえるのが良いのではないかと。
- ・毎年、活動している地域ではこの事業についてよく知ってもらっている。
- ・毎年、多くの事業者から参加してもらっており、もし協会にやめても湖北支部だけでも実施すると思う。

- ・事業は何でもかんでもやるべきではない。選択と集中で行いたい。
- ・この事業は「トラックの日」の広報のための手段である。支部によっては支部会員の交流のための事業になってきているように感じる。
- ・皆が良いと思うなら続けるべきであるが、検討してもらいたい。
  
- ・会社としては負担はないので続けても良い。
  
- ・広報の目的から外れてきているのであれば、まずは10回まで実施してからやめてもよい。
  
- ・参加費が出るから参加している事業所も多いのではないか。
- ・現在のクリーンアップ活動は広報が目的ではなく、会社や支部のレクレーションの一環になっているようである。
- ・今年やめてもよいし、来年の10回を行ってからやめてもよい。この時期、又予算的なことも合わせて交通安全フェアに集中してはどうか。
- ・協会でソフトボール大会はやめたが湖南支部では続けている。クリーンアップは支部事業として対応してもよい。
- ・事業は会長も歴代変わってこれその時の会長の思いとともに、時代と共に変革しなければならぬ。今は交通安全フェアに力を入れて進化させていく必要があるのではないか。
- ・湖東支部の執行部からもクリーンアップはもういいのではないかという意見もある。
- ・クリーンアップは支部事業として行われる支部は続けてもらってはどうか。
  
- ・当時の委員会では、「トラックの日」として琵琶湖一周のゴミ拾い、という意見の他、特に何も出てこなかったのでこの事業をスタートさせ今年で9回続けてきた。一度、支部や広報推進委員会でも一度考えてもらう必要がある。
  
- ・協会でやめても支部の活動として行うのもよい。
  
- ・支部長会議を開催して検討してもらいたい。
- ・交通安全フェアは先日の実行委員会で次年度も開催する方向で進めることになった。このフェアも工夫して行えば持続可能な事業となる。
  
- ・年末年始の忙しい時期に、わざわざクリーンアップの議題だけに支部長に集まってもらうのも大変だと思うので、来年1月19日の適正化事業運営委員会の前段で正副会長・支部長会議を開催し検討してもらってはどうか。

などの発言があり、検討されたところ、1月19日の適正化事業運営委員会の前段で検討することになった。

⑤ 物流セミナー（11/22 講師：須田慎一郎 びわ湖大津プリンスホテル）

外村委員長から意見を求められ次の意見があった。

- ・講師によって参加人数も違って来る。
- ・荷主も良い話であったと言っていた。講師は政治・経済で著名な人が良い。
- ・久しぶりに大津プリンスホテルで、会場も横長に使い良かった。
- ・駐車場は出口が一ヶ所で一斉に出るので出るのに30分かかった。駐車場のゲートは開放しておくべきである。
- ・ディーラーに荷主の記念品（バウムクーヘン）を渡すのはどうか。
- ・会員が同じ荷主を連れて行くことになった場合、荷主との力関係もある。
- ・ディーラーに記念品を渡すことについては、日頃無理を言ったり、お世話になっているのだから特に問題はない。

⑥ 物流出前講座

外村委員長から田中会長に発言を求めたところ、会長から現在、各支部前向きに取り組んでもらっているのでこのまま続けてもらいたい。また来年は高校に対し求人票を出し、多くの高校生を採用してもらいたいと述べられた。

⑦ 新年祈願祭（1/7 近江神宮）

田中会長から新年祈願祭は今までどおり実施すべきであると述べられた。

（2）市街化調整区域の緩和及び撤廃について

（物流総合効率化法の緩和について）

外村委員長から意見を求められ次の発言があった。

- ・資料のとおり県によっては市街化調整区域が緩和されているところや、物流総合効率化法もあるが、特積事業者と同様に一般貸切事業者も開発できるように法律で定めてもらうのが一番良い。
- ・金融機関からも融資をしたいことから、いろいろ言ってくるが金融機関からも県や国に対して要望してもらいたい。
- ・滋賀県倉庫協会では要望を行い草津の保税事務所から10km範囲から100km迄の範囲に保税蔵置所の許可を伸ばしてもらった経緯があり、先程話した滋賀県の特区制度についても要望してはどうか。

- ・滋賀県トラック協会としては県内全域を特区にしてもらいたい。
- ・先程ヒアリングに来た、県の企業誘致推進室と今後、当委員会で話や意見交換を進めていってはどうか。
- ・県の企業誘致推進室と今後、話を進めて行くべきである。三日月知事も県の企業誘致推進室の中に物流の窓口を設置していただいております。突破口が開ける可能性がある。

最後に、会長から今後、この委員会で県の企業誘致推進室と積極的に意見交換を行っていきたいと述べられ、進めていくことになった。

(3) その他

大黒参事から無事故・無違反運動の参加について協力依頼があった。

次回委員会開催予定      未 定